



AIMS Association of International
Marathons and Distance Races

The home of world running™

2019年5月23日（木）

著作権フリー画像へのリンクを文末に掲載しています

AIMS、「持続可能性委員会」を設立

国際マラソン・ディスタンスレース協会（AIMS）は、加盟大会の環境活動を促進するための次のステップとして「AIMS 持続可能性委員会」を設立したと発表しました。

AIMS 持続可能性委員会は、2018年9月にエストニア・タリンで開催された AIMS 世界会議にて「女性」「安心・安全」「環境」の三領域に関する委員会設置が発表されて以来、設立のための準備が進められてきました。AIMS 女性委員会は、3月8日（金）に日本・名古屋にて、AIMS 世界最大の女子マラソンである名古屋ウィメンズマラソンと国際女性デーにあわせ発足しました。

2日後には、名古屋ウィメンズマラソン 2019 の優勝者ヘラリア・ジョハネス（ナミビア、2018 コモンウェルスゲームズ金メダリスト）に AIMS 女性委員会より初めて「AIMS インスピレーションアルウーマンアワード」が贈られました。

AIMS は、国際的スポーツ組織としてスポーツと環境をつなぐ先駆者としての役割を担ってきました。2013年には「環境にやさしいマラソンを走る方法」を詳細にまとめたガイドブックを作成し、加盟大会の優れた環境への取り組みを表彰する第1回 AIMS 特別「環境賞」をマラソン生誕の地、ギリシャ・アテネで開催された AIMS 最優秀マラソン選手賞授賞式にて贈りました。

以来、環境賞には100を超える世界中の AIMS 加盟大会の関心と、下記のようなテーマにおける取り組み事例が寄せられました。

- マラソン大会の環境管理
- 環境や持続可能性に関する問題の啓発活動
- メディア報道とマラソン大会の持続可能性を促進する映像資料作成
- 地方自治体や実行委員会、持続可能性への取り組みを行う団体によるローカルアジェンダ 21 行動計画
- 生物多様性の保全・促進
- 地域文化遺産の保護
- 環境保護に関連する国連の「持続可能な開発目標」

今日までに、6つの AIMS 加盟大会が AIMS 環境賞を受賞し、その申請数は毎年増え続けています。

AIMS 持続可能性委員会の活動領域は下記の通りです。

- 環境ガイドラインの体系的な見直し、更新
- 全ての AIMS 加盟大会が持続可能性のためのアジェンダを作成し改善していけるようにするための知識移転計画の支援
- 大会運営の枠内での環境持続可能性に関するセミナーやトレーニングの開催
- 持続可能性と大会運営に関する AIMS 理事会の意思決定の支援
- スポーツと持続可能性をつなぐ国際対話への寄与

AIMS 持続可能性委員会の委員長には、国際的な持続可能性専門家である NGO 法人「インスティテュート・チーム・フォー・ザ・ワールド」の創設者であるとともに、AIMS の持続可能性に関する科学領域パートナーであり 15 年以上にわたり国際オリンピック委員会・スポーツ環境委員会委員を務めるジョージ・カザントポロス氏が就任します。

NGO 法人「インスティテュート・チーム・フォー・ザ・ワールド」に関する詳細情報はこちらをご参照ください。<https://www.facebook.com/teamfortheworld1/>

AIMS 会長パコ・ボラオ氏のコメント

「AIMS は、理事会が決定した加盟大会の環境保護を促進し持続可能性を高めるための具体的施策の実現に向け大きく前進しました。これからもスポーツの持続可能性に関する国際対話の先頭に立ち続けていきます。」

ジョージ・カザントポロス氏のコメント

「2013 年の AIMS 環境賞と環境ガイドライン導入以来続けられてきた努力が、今日の国際的ランニングムーブメントによりさらに勢いを増しました。AIMS 持続可能性委員会の発足は、AIMS のような国際スポーツ組織がより良い環境や持続可能な未来という社会のニーズに応える最前線となり得ることを示す確かな進歩と言えます。」

《歴代 AIMS 環境賞受賞者》

- 2013 年 — Generali ミラノマラソン (イタリア)
- 2014 年 — Mainova フランクフルトマラソン (ドイツ)
- 2015 年 — Chevron ヒューストンマラソン (アメリカ)
- 2016 年 — ヨーテボリハーフマラソン (スウェーデン)
- 2017 年 — Sanlam ケープタウンマラソン (南アフリカ)
- 2018 年 — スイスシティマラソン・ルツェルン (スイス)

AIMS に関する詳細情報はこちらをご参照ください。www.aims-worldrunning.org

編集者への注

著作権フリーにてご使用いただける以下の画像を提供します。

[パコ・ボラオ氏](#) – AIMS 会長

[ジョージ・カザントポロス氏](#) – 国際的な持続可能性専門家、NGO 法人「インスティテュート・チーム・フォー・ザ・ワールド」創設者、AIMS の持続可能性に関する科学領域パートナー、15 年以上にわたる国際オリンピック委員会・スポーツ環境委員会委員

AIMS について

AIMS は会員制組織で、1982 年の設立以来その加盟大会は 115 以上の国と地域にわたる 460 を超える世界的な長距離レースにまで拡大し続けてきました。AIMS 加盟大会は地球上全ての大陸にわたり、例えば紀元前 490 年にペルシア人が「マラトンの戦い」に敗北したことを告げるため、ギリシャの兵士フィディピデイスがマラトンからアテナイまでを駆け抜けたとされる伝説に基づきつくられた「アテネマラソン・オーセンティック」も加盟大会の一つです。その他、北京、ベルリン、ボストン、シカゴ、コムラッツ、ニューヨーク、パリ、東京マラソンといった世界史上最大規模の長距離走大会の多くが AIMS に加盟しています。AIMS の主要目的は以下の 3 つです。

1. ディスタンスランニングを世界中に広め推進すること。
2. 国際ロードレースに関するすべての事柄において、国際陸上競技連盟 (IAAF) と連携・協力すること。
3. 協会の会員間で情報や知識、専門技術を交換・共有すること。

お問い合わせ先：

Peter McLean, Director of Public Relations
Association of International Marathons & Distance
Races
C/o PMPR Excellence Ltd,
Windsor House, 15 Kirklee Terrace,
Kelvinside, Glasgow, Scotland, G12 0TJ
Mobile:00-44-(0)-774-037-1909

[THIS IS CONTACT DETAILS](#)

日本における AIMS 広報窓口：

AIMS PR Japan Office
名古屋市中区三の丸 1-6-1

[お問い合わせはこちら](#)

以上

AIMS HQ:Spyros Louis Ave., Olympic Aquatics Center, OACA, 151 23 Maroussi-Athens, Greece
tel./fax: +30 210 6832 550, www.aims-worldrunning.org - e-mail: aimshq@aims-worldrunning.org

